

回は折角なので園様のブログ子どもたちにとっても大切な取り組みになっています。今は折角なので園様のブログ

「今日は免許センターから先大分県にある普照こども園様のホームページに興味深いブログが発信されていました。ブログのタイトルは「普照・免許センターからのお知らせ」です」というもの。園では以前から『ストライダー』について、毎年1回講師を招いて乗り方や交通安全の講習を行っていたり、園庭に専用のコースがあつたりなど、このストライダーは園にとっても大切な子どもたちにとっても大切な取り組みになっています。今は折角なので園様のブログ

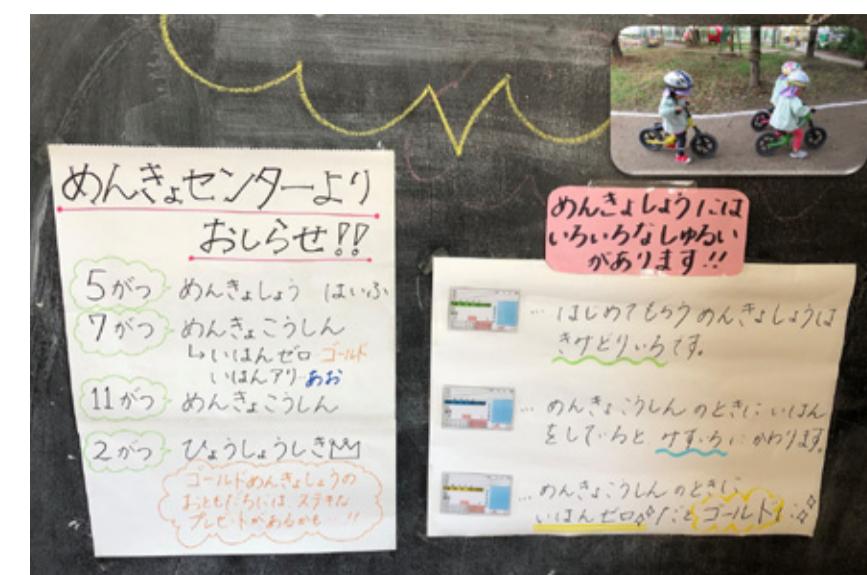


免許証のおかげで、以前よりも緊張感を持って乗っているそうです。

子どもたちが大好きなストライダー。昨年より、スピードの出しすぎや衝突で声をかけられる子もちらほら…3歳以上児では、子どもたちが交通ルールを守り、約束を守ることの大さに気づけるようにみんなで話し、先日子どもたちに免許証を配布しました。

子どもたちが大好きなストライダー。昨年より、スピードの出しすぎや衝突で声をかけられる子もちらほら…3歳以上児では、子どもたちが交通ルールを守り、約束を守ることの大さに気づけるようにみんなで話し、先日子どもたちに免許証を配布しました。

子どもたちが大好きなストライダー。昨年より、スピードの出しすぎや衝突で声をかけられる子もちらほら…3歳以上児では、子どもたちが交通ルールを守り、約束を守ることの大さに気づけるようにみんなで話し、先日子どもたちに免許証を配布しました。



スピード違反、衝突、駐車違反、逆走など、交通違反を繰り返すと免許停止になってしまうなんて…大人と一緒に緊張感がありますね！（笑）

普照・免許センターからのお知らせ

生がお友だちを連れてきたよ！」と紹介。「〇〇先生！」「違います。免許センターの〇〇です。」というやりとりのあと「みなさんは、交通ルールを守っていますか？」とお話をしてくれました。

免許証の種類が3種類あることや、ストライダー（乗り物）のルールは？お約束は？とみんなで改めて考えてきました。免許を配布するためには：視力検査を。どちらかの目を隠し、保育者がもつているCの紙をつかって「上です！」「下！」と答え、視力検査クリア！いよいよ免許証の発行です！（中略）一人ひとり免許証をGet！「ママと一緒に！」と、とても嬉しそうにしていました。「違反のシールが5個たまるとき免許証を回収します。免許停止っていうんだよ！」と、子どもたちに伝え、「免許証を返してもらうためには…」とみんなでお話ししました。



誇らしそうに免許証をGet！先生方の遊び心が光ります。



「見守る保育の環境と創造」をテーマに講演が行われました。



懇親会はセミナー会場から場所を移し、情報交換を行いました。

第50回保育環境セミナーが東京の日本橋で開催されました。保育環境セミナーは2002年から開催が始まり、今年で50回の節目を迎えました。毎回、全国から100名を超える先生方にセミナーにご参加頂き、述べ5000人を超えるご参加を頂いています。今回も、3日間に渡り研修が行われました。

セミナーでは、保育環境研究所ギビングツリー代表の藤森先生の講演や実践報告、見守る保育の5つのポイント等が行われました。

講演の中では、ドイツミュンヘンの保育のお話も藤森代表からなされました。今回のセミナーは、1週間のドイツ環境観察ツアーから帰国された直後のセミナーということもあり、ドイツ報告も行われました。50回という節目を迎えた背景には、日々現場で先生方が子どもたちと真摯に向き合われ、取り組まれてきた保育実践があつてこそその賜物なのだと改めて感じています。今後も学び合いが継続していくよう、私たちも学び続けていきたいと思います。

実践の賜物

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てばと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようよろしくお願いいたします。

カグヤクループログも毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp

「聴福庵」の情報はFacebookで

f 神家総本家 聽福庵

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階

第120版

理念と実践で 絆を結びます

CCN

CAGUYA COMPANY NEWS

カグヤニュース



赤しそジュースには、今年収穫した小麦でつくったお手製ストローと一緒に！



社内ガーデンで育った貴重なミニトマト♡



カグヤの『むかしの田んぼ』では、お客様も一緒に草取りに夢中でした！

暮らしのある働き

先月を振り返ると、社内や福岡の『聴福庵』、クルーの自宅など、この季節でしか体験できないものを楽しんだり、自然の恵みに感謝したりと様々な取り組みがされていました。例えば、梅干しや梅酒を仕込んだり、赤しそジュースをつくってみたり、お客様から頂いたさくらんぼやり、お手製ストローと一緒に！

メロン、更には社内ガーデンで実ったミニトマトを頂いたり。他にも季節に合わせた室礼や、6月16日の「嘉祥（かじょう）」という行事に合わせ、皆で美味しい和菓子を頂き、厄除けや招福を願いました。

効率優先だと不要と思われますが、子どもたちに残したい社会を考えると、やつぱり「暮らし」のある働きも大事にしたいと感じています。

カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介いたします。

働く姿勢



積極性を引き出す環境をつくりたい！

ここ最近、カグヤに新しい風が吹いています。高校を卒業したばかりのフレッシュマンがインターン生として、そして保育園の元園長先生もカグヤの社内環境を整えるために一緒に働いてくれることに！ もともと個性の強いカグヤクルーにさらに年齢も経験も個性豊かな方が加わりました。どちらも「自分にできることはやらせて下さい」という積極的な姿勢は共通していて、高校生の間で流行っているものをヒントに

自分にできることで誰かの役に立つという姿勢は、働き方だけではなく生き方にも表れるものなのだと思います。私たちもそんな姿勢を見習い、子どもたちに働き方でも生き方を伝えていきたいと思います。

毎朝の「ツイてる体操」でのイキイキとした姿にこちらまで笑顔に♪
社内ガーデンの植え替えも積極的に行っててくれる姿勢など、学ぶことばかりです。

アクティビティを考案する楽しそうな姿や、40年以上も保育園で働いているかと改めて考えさせられます。それはきっと私たちだけではなく、新しく仲間入りした同士もお互いに刺激し合っているように見え、適材適所の働き方がお互いを高め合うことに繋がるのだと感じました。

自分にできることで誰かの役に立つという姿勢は、働き方だけではなく生き方にも表れるものなのだと思います。私たちもそんな姿勢を見習い、子どもたちに働き方でも生き方を伝えていきたいと思います。

3ヶ月の間、カグヤでインターんシップをしていた学生が新たにカンボジアでボランティアに行くために日本を離れました。この節目の大切な「はなむけ」としてカグヤのみんなで話し合い、「お餞別」を渡す機会を設けました。その内容は、現地で必要になりそうな非常食であったり、常備薬であったり、お手紙や手作りの玄米クッキーであったり、また路銀としてお金も集めて渡しましたがみんなとてもあたたかい気持ちになりました。

日本では、むかしから旅に出る人や大切な門出にこれらのはなむけやお餞別を贈るという文化があります。これも大切な日本人の徳目の一つで、離れていてもいつまでもこのご縁を結んでいることを実感して絆を深めていたのです。今回のはなむけの場も「離れていてもいつも一緒ですよ」「何かあつたらいつでも連絡してね」「どうぞお便りをくださいね」や、「どんな学びがあったかまた共有してね」など、ご縁をいつまでも大切にしていきたいというお互いの思

いが伝わってきました。
この「はなむけ」という言葉は、「昔、旅に出る人の道中の無事を祈って、乗る馬の鼻をその行く先へ向けてやつたところから」旅立つ人の安全を祈り、前途を祝して、酒食をもてなしたり、品物を贈つたりすること」と書いてあります。平安時代の土佐日記にうまのはなむけと出てきますからかなり昔から続いている文化であることがわかります。昔は特に交通機関が未発達だったので話しかけ合い、「お餞別」を渡す機会を設けました。その内容は、現地で必要になりそうな非常食であったり、常備薬であったり、お手紙や手作りの玄米クッキーであったり、また路銀としてお金も集めて渡しましたがみんなとてもあたたかい気持ちになりました。

むかしば「暮らし」の中で社会みんなが家族になって生活していたように思います。だからこそ未来の社会の発展と家族の幸運を祈り、みんなで寄り添って心の豊かさを分け合っていたように思います。時代が変わつても、大切にしたい文化はこの日本にはたくさんあります。子どもたちがいつまでもこの国や歴史、先人たちの生き方に美しさを感じ、それが誇りになり伝承されていくようになります。だからこそ未来の社会の発展と家族の幸運を祈り、みんなで寄り添って心の豊かさを分け合つて、大切にしたい文化はこの日本にはたくさんあります。子どもたちも第一義の理念を実践していく



27日は土用の丑の日。「土用のうなぎ」はあの平賀源内の大作！

編集後記

7月は、暮らしも夏へと季節を変える月です。7月2日の半夏生（はんげしょう）は、半夏（別名・鳥柄杓）という毒草が生える時期で、昔からこの日までに田植えを終えるとされています。地方によつては、ハングという妖怪が徘徊し、毒をまき散らすという言い伝えがあり、天候が不順のこの時期は、農作業をしないようにとい

う戒めになつてているようです。そしてよく知られている七夕の頃をこの日を平安に衣食住のあらゆるものを夏向に変えたようです。この日を夏向に変えた意味があり、この日を平安に衣食住のあらゆるものが増していくという意味があり、この日を平安に衣食住のあらゆるものを夏向に変えたようです。

（佐藤真樹）

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



本社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)